

5月18日

忠岡町を変える

これえだ綾子さんといっしょに 新しい忠岡を

住民合意のない

産業廃棄物焼却施設 誘致計画は キッパリ中止

昨年の町長選挙では、産廃計画の推進をかかげてきた前町長は過半数を得ることはできませんでした。住民が産廃施設に「合意」したとは言えません。

一方で「産廃ストップ」を掲げた明るい会・これえだ綾子さんは、後一步というところまで大健闘しました。

不正を許さない 忠岡町へ

清潔・公正な町政

前町長は官製談合等、違法行為の疑いで書類送検され辞職しました。入札情報を事前に漏らす不正はあってはならないことです。二度と繰り返されないように、公正な町政をつくる必要があります。

基金20億円

活用して 住民のくらしを 応援

忠岡町の基金（町の貯金）は20億円になる見込みです。

ため込むばかりではなく、物価高騰でたいへんな住民のくらしや営業を守るために今こそ使うべきです。



ご一緒
に
つくり
ましょ
う



これえだ 綾子

● 明るい会は次の見解・政策を発表しました

発行：明るい住民本位の忠岡町政をつくる会

No18 2025/4/19 TEL.0725-33-4465（高迫）

住民の声を聞かない これまでの町政 大きく転換するのか 問われています

前町政では

「巨大産廃焼却施設の誘致・建設は不安・心配」という思いが込められた「1万筆の署名」をいっさいかえりみようとせず、強引にすすめてきました。また、「働く婦人の家」廃止でも、住民の存続・充実の声に背を向けています。

これえだ綾子さんは

住民の声を聞き、対話と情報公開をすすめ、町政を住民本位に変えます。

産廃焼却施設誘致計画は中止。ジェンダー平等社会の実現にとりくみます。



住民の 声を聞く

「住民本位」の町政をめざす

これえだ綾子さんの4つの決意

談合防止策で 公正な入札を

最低制限価格の事前公表で
官製談合を防止

産業廃棄物焼却施設 誘致計画は中止を

住民のいのち・健康を守るため、
産廃焼却施設誘致計画の白紙撤回。
ごみ処理は、広域化をめざします。

教育・福祉の充実を

小中学校の給食費無償化、子ども
医療費の完全無償化など子育て支援
を強めます。

高い国保料。介護保険料の引き下
げなど負担を軽減

住民参加で 元気なまちづくり

住民の声をしっかり聞く
「住民懇談会」の実施。
空き店舗、空き家対策の充実

これえだ 綾子

是枝 あやこ

プロフィール

27歳から忠岡町議（9期）
1991年初当選。
出産、子育てをしながら議員
活動。副議長など歴任。



9期33年の議員経験を
活かし、忠岡町政を
みなさんとつくります



明るい住民本位の忠岡町政をつくる会